

I. 学年通信を通しての総合人間科 ー中1学年通信「Poco a Poco」からー

矢木 修・中村 明彦

(1) 学年通信を通しての学年経営

矢木 修

【抄録】 学級、学年経営の上で、学校の方針を家庭に理解してもらうことは大変重要なことである。生徒の健やかな成長を願うとき、学校と家庭が連携して指導にあたることが不可欠である。学校で起きていることを家庭に知らせる一つの手段として学年通信がある。この学年通信を学校から家庭への一方通行的なものとしないで、家庭から学校への要望、あるいは思春期の子どもを持つ親の悩みなどを掲載する内容とすることによって、親に精神的安定感を持たせられるとの思いから、学年通信の役割などを考えてみた。

【キーワード】 学年通信、学年経営、生活指導、学校と家庭との連携

1. はじめに

平成8年度、中学1年の学年代表をする事になった。校務分掌は指導部長である。平成8年度以前、指導部長はどの学年にも属さないで、全校的な視野で生徒指導にあたっていた。しかし、平成7年度より、本校が研究開発指定校に委嘱され、研究部長の職務が相当重くなつたため、平成8年度より、少なくとも研究開発に取り組んでいる間は、研究部長を学年からはずし、それまで学年からはずれていた指導部長を学年付きにする事となった。

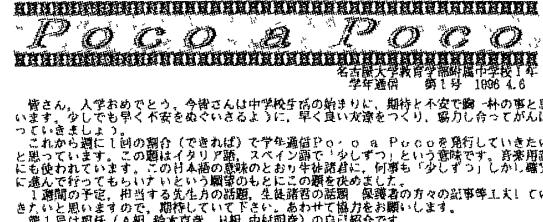
中学校は各学年2学級で、正担任2人、副担任2人の計4人で学年経営をしていく事になった。学年で、研究開発の研究企画担当、生徒指導担当、学年会計担当、学年通信担当と、それぞれの役割分担をし、4人で協力して中学1年を運営していく事になった。そして、筆者は学年代表として学年通信を担当する事になり、全体的な立場で学年経営をしていく事になった。そこで、如何にして学年通信を学年経営に役立てたら良いかいろいろ考えてみた。

それまでも、学級通信、学年通信を発行して、学校での生徒の動きを積極的に家庭に連絡している学年もあった。しかし、それらはどちらかと言えば、学校から家庭への一方通行的な通信が多かったように思える。筆者自身校務分掌として指導部長を数年間経験してきた中で、生徒達の健やかな成長を願うためには、学校と家庭との連携が非常に重要であると強く感じてきた。そこで、今まで一方通行的な学年通信を、何とかお互いの考えをぶつけ合える場、同じ悩み等を打ち明け合える場にすることによって、相互理解を深め合い、学年全体が、明るく、伸び伸びとした雰囲気になるよう努め、そんな中で生徒達が健やかに成長していくてくれる事を望んだ。

2. 学年通信の内容

学年通信のタイトルは、この学年が少しずつ、でも一歩一歩確実に前進していくようにとの願いから、スペイン語の「少しずつ」という意味の「Poco a Poco」とした。

B4サイズで毎週金曜日発行の週刊号とし、内容は、その週にあった出来事の概要、次週の予定、そして残りを我々担任団が日頃思っている事や、何か行事があれば生徒の感想文、また保護者の方の意見、思春期の子どもを持つ親へのアドバイス等を取り上げる事とした。



A組担任 鈴木 克裕
新一年生のみなさん、ご入学おめでとうございます。入学式の日が、こんな晴天に恵まれてよかったです。
期待し胸膨らみながら少しも少しの不安があり寂じる心地かと思いますが、リラックスして本家の自分を十分発揮してください。
私事ながら私も1年の長さをもつてあります。親の気持ちと、教師の気持ちを合わせて1年間を皆さんとともに過ごしていきましょう。



学年通信を通しての学年経営

3. 学年通信を通して家庭とのキャッチボール

そもそもこの学年通信を、学校と家庭との連携をとる一つの手段として考えていたので、まず、我々教師団の学級、学年の経営方針を理解してもらおうた



先週いたしましたアンケート協力ありがとうございました。その集計を致しましたのでお知らせします。今期は特別分です。

1. 家庭での生活について
①学校での事をよく話す ②時々自分から話す ③聞くと話す ④あまり話さない
(37名) (25名) (13名) (4名)
どんなことをよく話しますか。
・友人のこと 先生のこと 部活のこと・授業のこと 先輩のこと 等色々
②親子での会話をよく話題にすることは何ですか。
・勉強 社会の出来事 時間の使い方 ④親の子どもの頃の話・将来的のこと
・TVの内容 スポーツ 芸能界・本 趣味 友人 音楽 等色々
(3)子どもの生活について 「あらっしなさい」「こうしなさい」等との程度言われますか。
①結構確かに今まで改しく言う (21名) ②必要な時だけ言う (15名)
③子どもの自立性に任せあまり言わない (7名)
④親のことはよく聞く時、子どもはよく聞きますか。
⑤親はよく聞く ⑥自分の主張をしながら最も最後は聞く ⑦よく反発する
(23名) (5名) (3名)
母親の音でことに対して
⑧親はよく聞く ⑨自分の主張をしながら最も最後は聞く ⑩よく反発する
(10名) (5名) (8名)

×中の1回期はまだ自分からよく話してくれますが、特に男子はこれから学校での事など、あまり話さなくなります。そしてよく反発するようになります。いわゆる自立をめざしての反抗期ですが、こうしたとき、あたうどうる反抗期をやがてきたなで終わらないで、子ども達は物語などに心が向いていないか、今まで「急に違うことに心が向いてきたようなときに」は、「すぐ担任などに連絡を取りたりして、非行化していないかよく見守って必要があります。

- ⑪子どもも家で何か決まった役割を持たせていますか。
⑫決まった仕事「手伝い」をさせている ⑬ほとんど手伝いをさせてない
(4名) (31名)
どんな手伝い 風呂の掃除 食器の片付け 自室の掃除 自分の物の洗濯 等
⑭親が忙しくしているとき手伝ってくれますか。
⑮親は忙くとも自分から手伝ってくれる ⑯親は忙くとも手伝ってくれない
(32名) (48名)

×担任をやっているねは、…というのではなく、やはり家庭で自分の役割をきちんと持たせ、自分の存在感を自覚させることが大切だと思います。

専門職に就き自立してほしい。 自分の能力にあって長くやれる事をやってほしい。
・本人の希望 (薬剤系の大学から建築関係、法学部系、医師免許を持つ医療) 向かう事を目指します。

- IV. 子どもにどんな生き方をしてほしいと望れますか。
・少しグリーンのある生活をしても、今したい事を一生懸命してほしい。
家庭、友人、身近な人が大切にし、他人の痛みがわかる人にになってほしい。
自分に一帯高鳴っている事を見付けてし、後悔しない生活を選れるようにしてほしい。
正しい価値観に身に付く、自信と勇気を持って生きほしい。
・生きがいを持つてやれる限り早く見付け、自分で標準を立てる自分でやる気を起こしていくことが大事。親は子どもの善惡を見極めてあ大事が重要だ。
努力すれば何でもできる事を学び、自分に合った仕事を見つけてほしい。
自分が生き生きとしているらるよくな、背伸びしなく、柔しく、自分らしくいられる様な生き方をしてほしい。
・ストレートな人生でなく、迷いながらでも幅の広い人生を歩んではほしい。
自分に責任を持つて自分で大切にしていくほしい。
・人間は一人で生きてゆくことができないので、人を支え、支えられる生き方を望む。平凡で良いが、自分自身に意義であってほしい。時代の精神や流行に埋没しない批判的の考え方の持ち主になつてほしい。
・スポーツや音楽などから興味に興味を持つてほしい。
・自由に生きたい。ただし人は皆協力し合わなければならぬ事を理解し、地球レベルで考える人になってほしい。
自分からも力を發揮しながらも中学生としての集団生活をしっかりと送ることができる、バランスの取れた生き方を望む。
・自分の決まりごとに自信を持つて生きてほしい。
家庭を大切にする人になつてほしい。
人間一人で生きて生きていくので、人の傾向を察知しないように、付き合う人間に対して意識をつける。人間間に、前向きに生きてほしい。
自分がやりたいのある仕事を持ち、長き配偶者を得て、信頼と愛情で結ばれた家庭生活が、仕事のどちらかなる動機となるような暮らしになってほしい。
自分の意見ははつきり言えるようになってほしい。
明るいのびのびとした雰囲気でいてほしい。
・自分の目標に向かって妥協しない生き方をしてほしい。
・時々さくまつても捨てで乗り越えてほしい。

本当にどの子も子どもに胸撫づける気持ちですね。附中の子達はこんなにも親に見守られやすいですね。しかし、子ども達はどこまで「親の気持ち」をわかってくれているか。逆に子ども達は親達はどこまで「私たちの気持ち」をわかっているかと思はれませんか。

- V. 子どもの生活をみて学校に望みたい事がありましたらお願いします。
- ×このアンケートをしたとき、ある方からアンケートの文中に「子供」と漢字で書いてあるが「子供」は「つき放つていく人」の意だから、「子供」とせず「子ども」としてほしいご指摘されました。兎も角も身分今までの点を意識していないかつたので、あれ?と思ひ、辞書等で調べたり、辞書等はどこで「私たちの気持ち」をわかっているのかと思ひました。辞書でも、新聞でも「子供」は使われていました。しかし、教育書では「子ども」となっていました。それはどうしてか良くは分かりません。でも「子供」に限らず、このように知らず知らずのうちに差別と思われるような用語を使っている事もあるようです。教育者としてはこんなことではいけないと思いましたが、これからも何が問題があるようでしたらご指摘下さい。

・もう少し部活が活潑であつてほしい。
学校における授業も家庭も、ノートを書く、文字を書いて勉強するように指導してほしい。ある程度の指導も希望する。

「しきけ」は家庭です。学校では子ども達に自分の頭で判断し、できるような環境

めの訴えをした。

また、生徒達の家庭での生活状況や、保護者の子どもに対する期待感、学校に対する願いなどをアンケートし、その結果をすぐ「Poco a Poco」を通して保護者に返してみた。

(1)子どもはテレビを見るといいますか。

- ①親が「もうやめなさい」と言うまでよく見る (4名)
②見る時間は平均して 0.5時間 (4名) 1.5時間 (2名) 2.5時間 (3名) 4時間 (2名)

(2)子どもは本をよく読んでいますか。またそれはどんな種類の本ですか。

- ①よく読み (4名) ②あまり読まない (3名) ③ほとんど読まない (5名)
本の種類 (小説) (自然科学) (伝記) (趣味の本) (マンガ) (その他) (36名) (28名) (3名) (28名) (49名) (19名)

×やはりマンガが非常に多いですが、マンガだけに終わらないで、色々な本をたくさん読んでほしい。

- ④家庭直に親の日から見て、子どもは中学生生活を頑張って送り始めていると思われます。
①よく頑張っているほう (5名) ②普通 (5名) ③たまにでいて頑張りが足りない (2名) (1名)

×みんなよく頑張っているようで心配しています。④の1名の子についても、きっと基礎が高かったんでしょう。しかし、これに満足しないで、より一層の努力をしていましょう。

II. 家庭学習について

- ①子どもの勉強を取り組む姿勢はどんな様子ですか。
②よく机張りついているほう (5名) ③普通 (5名) ④たまにでいて頑張りが足りない (2名) (1名)

×毎日どのくらいの時間勉強していますか。
平均して 0.5時間 (10名) 1時間 (35名) 1.5時間 (14名) 2.5時間 (3名) 3時間 (1名)

- ⑤塾、家庭教師、習いごとをしていますか。
⑥塾 (3名) ⑦家庭教師 (3名) ⑧習いごと (4名) ⑨何もしていない (1名)

塾の勤めで始める (20名) 日的にやらいでいることで始めていく (3名)

III. 科学子どもがどのような道路に向かっていき事を望まれますか。

×家庭の道はいい、ほとんどの方が、子ども達が自分で真剣に考え、それに向って努力していくから、その方向を尊重してやりたいとされています。

最低入学は出でほしい。

- ・自分で話せる達に進んでほしい。
・本だけのあとを継いでほしいが、自分の望む道を進べばよい。
本当にやりたいことを、成り立つことを考えてほしい。
夢を実現してほしい。
・わかりの楽しさ、ヤー負けないから、結構した走路を見つけてはほしい。
・独立して生計が立てる技術を身につけてはほしい。
・英語に力を入れ、それが活かされるような環境に就いてはほしい。
・女性も自立してゆける道に進んでほしい。
・国庫費などの資質をとつて、自分に生きがいが見つけられる仕事に就いてはほしい。
本人が決めるもので、それを元でチャラチャラしてゆきたい。
・医療関係に進んでほしい。

・援助をお願いしたい。

- 立つ事があまり好きでなく、つい滑稽になりがちで、友達とつまくやっているか不安になります。育児の子ども達の様子を見てはほしい。
本当の立派な子どもたちに会つて退塾を見付けた手助けをしてほしい。
・「自由とは何か」本当の自由の意味を理解させてほしい。
子どもの性格からして勉強は入り込めないとできないで宿題を多くしてほしい。
・学生生活での人間関係(協調性、規律)を守れるようにアドバイスしてほしい。
自由ということはとても大事な事だといつも言っているが、まだ中で、温かく見守ってほしい。
親子だけでは乗り切れない選い、いやごろにさしかかってゆくこれから、先生方の青春を話してやってほしい。
子どもの持つている個性が伸び、そしてまだ取つてある個性が芽を出してくれるような学校であれば理想的です。
校長を大切にしながら小さなことになつてはほしくない。
堅持していけるときは自分で、生後して「していけないこと」「守り抜けなければならぬこと」として、坚持出来ないときは「していけないこと」で守り抜けなければならない。
誰の影響を受けやすく、他人と同様によくしてしないと気になる子ですので、服装の乱れ等は家庭で注意ですが、自分の感覚の内では先生方に注意してもらいたい。
問題は体力耗減でほしいうつ窈もよくて本人の健康度をもるものなので、紙面上で上位者の名を取せるのは必要なもももいたい。
先生の仕事は堅苦しいが、それで上位者の名を取ることはない。
運営の高い仕組みは堅苦しい現状を、そこで本当の意味の「自由日曜」を尊重できる生徒であります。学校であつてほしい。

上曜日の授業はどこでオフコースしてもいいたい。西木綿目にしてあります。

- ハーネス飛行を行つてほしい。
学校はよい事したらどんどん詰め、悪い事をしたらどんどん叱つてほしい。根本的には先生の持つている知識を吸収するのが学校で、しげは各家庭だと思います。
テニスを競技だけでなく、ゲームの楽しさを年生から。
朝の部活の練習後、更大的場所で教習のため着替えられない。何とかならないか。
部活で滞在の時間が7時半になるとが、他の課の終わる時間早くならない。今は時間に余裕が持てない。かと云ふとどうも帰宅部屋にはなりたくないよう。
これから色々な問題がでてくると思いますが、その時は、子ども達で解決できるようにアドバイスしてほしい。
自分の子は友達のつながりを作つとしないよなうので、友達と一緒に何やらよくな取り組みをしてもいいな。
校長、政綱市立の中学校で、あまり劣らないよう完備していただきたい。
「自由闊達な校風」は子ども達にとって素晴らしい事だと思うが、学校に慣れていくほどその自由を引きはつてはいるふうがあるようだ。自由は責任を持つて行動すべきで、無条件的純粋の自由はないはずだ。子どもが変わるべき道を進む事がないようにもう少し先生方の強い思いと干渉があるといつも想ひた。
水泳部を通常行つてほしい。せっかく練習!トレーニングもと思って張り切っていただけに残念だ。成長期にあることを考えても是非行なってほしい。
・部活の後のジュースを買ふ機会が多く、金銭、健康、しきけ等の面で困る。
世間一眼でじめの問題が往々しているが、決して命を絶つといつこの氣の無いよう学校生活の中で心細いの仕事をしてほしい。
男子の詰め横生は音の附近に緊張を強いているので、他のデザイン、または自分が良いと思う機会があれば男子生徒の声を聞き、生徒会等で取り組ませてやってほしい。

×多岐の貴重なご意見ありがとうございます。このようなご意見を参考にして、改めるべき点については、努力していくかと思います。どんなことも、生徒にとって効果的な指導が成り立つの、学校と家庭が協力し合ってこそ成り立つもので、「やめ学校は何をやつとる」「家庭の様がなつてないから」「なんて言い合つては」、結局は生徒をダメにするだけです。それぞれが思っていることを出し合つて、それそれの意見を尊重しながら協力していくことが大事だと思っています。みんなこゝから学生看板「Poco a Poco」を、意見を出し合う場にいてくださいと考えています。積極的なご意見をお寄せ下さい。

地域の学校であれば、子どもが逐一家庭で学校の様子などを報告しなくとも、兄弟の関係から、隣近所の世間話の中から、何となく学校の様子が分かるものである。しかし、広域から通っている学校環境から、保護者において、学校とのつながりは、学校便り、学年通信などと、わずかな手段しかない。

保護者としても、少子化が進んでる今日では、第1子の教育問題に関して、少なからず不安を抱いてい

名古屋大学教育学部附属中学校 1年
学年通信 第14号 1996.6.21

今まで実習生でいた学校も、教育実習が終わって実習生がいなくなり、何か急に淋しくなったような気がします。生徒達も元の先生に戻り、安心？していいやら、また優しい先生がいなくなつて淋しいやら、ちょっと戸惑っているような感じもします。

さて、月曜日には第1回学年保護者会を持ちました。今回の様子は後述しますが、子どもの準備不足もあってか、折角蒸し暑いなかお出かけして頂いたのに、なかなか多くの皆さんからご意見が出にくいうような会になってしまったと申訳ありませんでした。こんなことなら次回からもう学校に足を運ばないといふ事のないよう、これからも積極的に足を運んで頂いて、附属学校が少しでも良くなるようにご協力下さい。2学期以降字級委員の方とも相談して、皆さんの意見が出しやすいような会にしていきますので、良案がありましたらどんどん字級委員の倉持様（B組）西村様（A組）の方までご連絡して下さい。

【次週の予定】

- 6/24(月)
- 25(火)
- 26(水) 残業テスト時間割り発表
- 27(木) 考査
- 28(金)
- 29(土) 第5回総合人間科(発表)



6/17(月)に第1回中1学年保護者会が開かれました。約50名の方に出席して頂きました。まず各クラスの近況報告を担任の方からしました。

【A組】・クラスで起こっている盗難事件について。・友達どうしきつい言葉で言われ悩んでいる生徒がいること。・暗い話題ばかりではなく文化祭へは頑張って取り組んでること。・朝の会ではクラスの歌を作つて歌つてること。等の話がありました。

【B組】・何か物が無くなつた時、すぐ盗られたと言つてくるが、そんなことを言わないともう一度よく聞いてごらん。クラスの仲間にそんな想いことをする人はいないよ。みんなを信じよう。2～3日たつと実際無くなつた物が出てきたことが2～3例あつたこと。・シャツの置き忘れ等自分の物をしっかり管理できない子がいること。・提出物がなかなか出揃わないこと。・体調を崩し保健室に行く生徒が増えたこと。等の話がありました。

矢木より盗難について。他校の例も出しながら、女子は多くの生徒は靴に財布を入れているため男子より被害が多いこと。多額のお金を持ってこないようにし、学校では貴重品の管理をしっかりとすることなど。学校全体の様子など話をしました。

中間テストについては、特に顕著な特徴として、A組は女子が上位を占めていること。はやり授業中の姿勢が結果に影響していること。今回は基本的な問題が多くたので、こんな簡単なものなら油断すると、次回からは困る。規範正しい自習が必要であること等の話をしました。また、総合人間科で今取り組んでいる様子の話をしました。今までもやっていたが、うまく文章にまとめられない子もいて、何か他の方法でもうまく表現させる事はできないか検討中であります。最後に時間もあまりありませんでしたが、身だしなみ、ウォーターマン等の持ち物、ピアス等の問題について話し合いました。

さらに総合人間科の内容を保護者に理解してもらうためにも、この学年通信は大きな役割を果たしたといえる。

中学1年生としての総合人間科の取り組みは、学年テーマを「出会いから学ぶ」一人と地域から生き方を探るーとし、まず最初は身近な人との出会いから学ぶとし、小学校の先生、塾の先生、父親、母親、祖父、祖母・・・など身近な人から、今までの生き方、自分達に対するアドバイスなどを聞くことによって、これから自分の自分を考えさせることとした。そのためには、まず保護者にこのような学校の取り組みを十分に理解してもらう必要があった。さらに、途中で生徒達が具体的にどのような取り組みをし、その結果どのような感想をもち、総合人間科に取り組

るものである。でも、その不安が自分一人の悩みなのか、それとも、一般的な悩みなのか良くわからないという不安もある。

そんな中で、このような学年通信を発行する事は、保護者に不安感を払いのけたり、いろいろな人達の考えを参考にできるということで、かなりのメリットをもっていると思える。

A組4班ノートより 「私は人間がいなくなった方がいいと思う」

人間は自分の住んでいる地球をこわしている。原水爆実験、戦争、森林伐採、フロンガス、公害病、地球温暖化、酸性雨、CO₂、etc など自分の首をしめてるとしか思えません。地位や肌の色だけ差別したりします。第5福島丸の水爆実験そう過去を知っていますか、船員全員が被爆し、船員1人が死にぎわに「原爆の死者は、私一人で最終にしてほしい。」と言いました。多分それは無理でしょう。近い将来核戦争が起きるでしょう。しんきうるのように。人間は自分たちに都合の悪い物をつくり、都合のよい物を失っている。果たしてこれでいいのだろうか・・・。人間の都合によつて他の生物を殺していくのだろうか。トキや日本オオカミや西山雀や白サシや象・・・etc。人間になつたら他の生物はもっとすごしやすいだろう。と私はつくづくそう思う。人間は他の生物の邪魔しかしていないと思う。

学年保護者会の折り、1年の学年代表B組の倉持様とA組の常任委員西村様に原稿をお願いしました。快く引き受けで下さいまして有難うございました。

1 B 倉持雅子 様

昨日、「Poco a Poco」に何か書くようにとの依頼を受け、それからずっと自分の中学1年生時代を思い出そうとしてみました。初めて買った英語がきっかけで外国のこと興味をもつたこと、切手収集という趣味をもち切手のことなら何でも知っているという友だちに出会いびっくりしたこと、クラブ活動などを通じて友だちの存在が急に大きくなつたことなど次々にいろいろなことを思い出しました。私たちの時代と今とは違う点もあるでしょうが、勉強や友だちのことを含め、学校生活全般。自分の身の回りのこと、自分自身のことなどについて、困ったり、驚いたり、悩んだり、嬉しかつたり、悲しかつたり、などなど、いつの時代でも中学生として共通することは沢山あると思います。ですから、子どもたちと何でもいつしょに話していけたらと思うのです。少なくとも「○○○しなさい！」といういい方だけはやめたいと思っているのですが・・・。

1 A 西村千未 様

私の中学校生活は、校則に縛られた毎日と、1点でも多くの内申点を取る為の勉強勉強。全てが高校入試という厳しい競争を勝ち抜く為の生活だった様に思う。そんな虚しい思春期を過ごした訳から、娘は一度しか通つてこないしの時を、私と同じような過ごし方で終わつて欲しくはなかったので、高校入試がなく且つ自由な選択の当校へ入学を希望したのである。

娘は叶い希望に胸膨らませ入学して三ヶ月。子供たちには重すぎる色々な問題がちらがり、学校・保護者それぞれに心を痛めているのが現状である。「自由」という名のもとに何をしても許されると思っている子供、校則に無いのでそれ以上厳しく言及できない統一的見解をもたない学校、そして学校に一任してしまっている保護者。今回問題とされている事柄は、各々の自覚の甘さの現れだとはいえやしないだろうか。

本来「自由」という事はとても素晴らしいことで、裏返せばそれだけ信頼され、任されている事である。生徒の自主性を尊重し個性を認めてくれる、そんな学校に通うことが出来る自分に自信と誇りを持ち、「自由」という事を羅列しないで欲しい。

時代は移ろい、人々の価値観も多様化し、生きていけるのが大変な時代である今、皆何らかの形で心の叫びを発しているのだと想う。子供のそんな信号をいつでも受け止めてやれるよう、先生方と二人三脚で進んでいくべきである。そして、どんな時代であっても、人間として最低限守らなくてはならないモラルは、変わりはしないということを誠実たる態度で示していくべきである。

んでいるのかを、知つてもらった方がより効果的な学習の取り組みができると考えた。そのために、総合人間科の授業を行ったときは、まずどんな取り組みをし、それに対して生徒達がどんな感想をもつたか、さらに今後どんな取り組みをしていくのかを、学年通信を通して保護者に伝えてきた。また野外学習に行けば、そこで相手からどんな感想をもらつたかも極力掲載して、保護者から生徒達にこれから生き方に対するアドバイスをしてもらうような、総合人間科への協力を呼びかけた。

学年通信を通しての学年経営

Poco a Poco

名古屋大学教育学部附属中学校1年
学年通信 第17号 1986.7.12

月曜日には、球技大会がありました。バレーボールの試合でA・B対抗で行ないました。女子のゲームは、どちらかといえばサブが入れられがつくという感じでした。男子は、意外にも（意外というと男子に叱られてしまいますが）ラリーが解くではないですか。面白かったですね。結果は総合でA組の勝ちになりましたが、A、B組保護者共に失敗した人を責めるでもなく「ドンマイ、ドンマイ」で、お互いをカバーしあいながらのいい試合でした。

いよいよ、1学期も残すところ来週のみになりました。1学期には、初めての総合人間科の授業、教科ごとに先生の変わった授業、地下鉄バスを使った通学、お母さんの心こもった弁当、部活での先輩との関係などいろいろな事がありました。自分の生活を振り返って、良かったところ、残したほうがあつかったと反省するところをはっきりさせて2学期を迎えましょう。

夏休みの問題については、次号でまとめます。

来週の予定

| | | | |
|--------------------|------------|------------|--------------|
| 7/15(月) | 1節 2種 3時 | 1節 2種 3時 | 午後 演劇鑑賞 弁当必要 |
| 16(火) A1種(福) | 2種 3時 | B 1節 2種 3時 | 午後 保護者面談 |
| 17(水) 国1種 2種 3時(福) | 組 1節 2種 3時 | 午後 保護者面談 | |
| 18(木) 1種 2種 3時 | 1種 2種 3時 | 午後 保護者面談 | |
| 19(金) 1学期終業式 | | | |
| 20(土) 海の日 夏休み | | | |

A組の保護者の方より、生活指導の在り方についてご意見を頂きました。
監修、偽造テレカ、ピアスと、我が家でもっぱらの話題だったものが、学年懇談会でも話の中心となりました。

偽みや偽造テレカの使用といった行為は、校則レベルの問題ではなく、法で規定される基本的な義務違反です。また、ピアスやウォーキング、ポケベルの携帯は、家庭での判断が優先されるべきもので、学校は是非を問う事柄でないと思います。これらがきっかけで、校則の強化（？）が云々されるというのは困ったなあというのが私の感想です。

ただ、現在進行形で繰り返される違法行為や、被害にあった生徒の気持ちを思うと、思春期・反抗期真只中の子どもを持つ親としては、平静でいられないのは当然です。懇談会で出たご意見、ご質問も、悩み相談の心の反映だと受け取りました。

しかし、こんな時、親が浮き足立ってはいけないと思います。恥名高い管理教育愛知の公立小学校へ6年間子どもを預けさせ、批判していた皆の管理教育＝人間性の御座という事態を、自ら求めてしまうことだけは避けなければと思います。

幸い、懇談会の折り、矢木先生から「禁止句は使っても効果はない。むしろ反発を招くだけでは使いたくない。」旨のお話を伺って、こうしたお考えで対処してくださるならと安堵しました。

また、盗難事件について、娘に「クラスメートの中に盗んだ子がいたらどうする？」と聞いてみましたが、「盗んだものを返して、二度としなければいいんだ。ずっと友達だよ。当たり前じゃない。みんなそう思っているよ。」という答えが返ってきました。

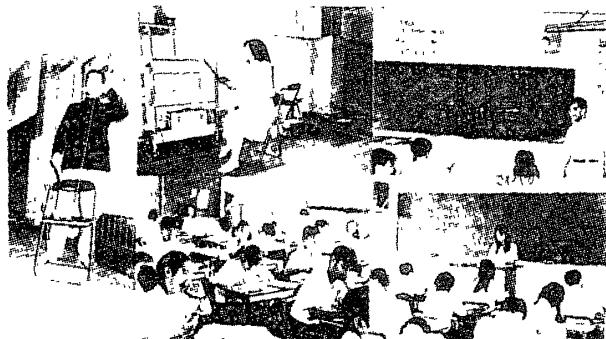
矢木先生のご指導に感謝するとともに、子ども達は結構健康で強烈な精神を持っているんだとれしくなりました。

こうした現実をみて、先生方のご助言を尊ぶながら、子ども達を信じて、共に成長して行きたいと願っています。

4. 担任のつぶやき

数回にわたって担任から、学級の様子などを含め、担任のつぶやきを掲載した。これによって、担任の人となり、また学級の様子もかなり、保護者に理解してもらえたのではないか。

- 5/2 5号 鈴木 クラスの様子
中村 1ヶ月間の校長先生の話のまとめ
- 5/24 9号 鈴木 道徳俳句・川柳講座
- 5/31 10号 中村 学級模様ーひとはだ脱ぐ行為ー
- 7/9 18号 鈴木 1学期を終えて
「心を痛めるある中学担任」
中村 1学期を終えて「思いやりの心」
- 9/2 19号 鈴木 先生の夏休み
中村 夏休みそして2学期の始まり
- 9/13 21号 鈴木 9月に入って2週間過ぎました
中村 学級模様ー力いっぱいやる演技ー
- 10/11 25号 鈴木 盗難がまだ続いている
- 10/18 26号 中村 後期に向け出発
- 11/8 29号 鈴木 そうじをめぐって男女の対立
- 11/16 30号 中村 朝の様子
- 12/6 33号 鈴木 冗談？



今日は、総合人間科の授業風景。先日の球技大会のスナップ写真を載せてみました。
左：訪問調査寸断による事前指導 生徒役の中村先生、真ん中上：小学校の先生役の原先生、右上、真ん中下：A組の調査研究発表会、右下、B組の調査研究発表会

調査研究発表会は8月29日と7月6日の2回に分けて行ないました。写真にもありますように、お父さん、お母さん、お祖父母ちゃん、お祖母ちゃん、小学校の先生、塾の先生など、多方面にわたりました。A組ではそれぞれの発表に対して、多くの質問がなされ、2回の発表会だけでは全員出来なく、別の機会も設けられるほど活発でした。B組では、みんな静かに他の人の発表を聞くことができました。また、各自がこの訪問を通じて、それ各自の将来について、どのような生き方をしたら良いのかおぼろげながらも考へていこうとしている姿勢が見えた感心しました。

右の写真は球技大会のスナップです。A・B共に白熱したゲームでしたが、カメラマンの技術が悪く、かつていい瞬間を見逃されなくて残念でした。



- 12/20 35号 鈴木 臨時保護者会から
中村 中日新聞「中日春秋」の記事より
- 1/8 36号 鈴木 新年を迎えて
中村 新しい年が始まった
- 1/24 38号 鈴木 川柳が語る中1A
- 1/31 39号 中村 授業開始直前の学級模様
- 3/19 46号 鈴木 最後の最後まで
中村 中1Bの掲示物

副担任

- 4/26 4号 矢木 チェルノブイリ原発事故に思う
- 6/14 13号 矢木 20年前の教育実習
原 かんぴょうの思い出
- 7/5 16号 原 フィールドワークの発表会を聞いて
- 9/2 19号 原 2学期に向けて
- 9/6 20号 矢木 夏の思い出？
- 10/11 25号 矢木 父権の復活
- 12/20 35号 原 冬休みを前に
- 1/17 37号 原 年末年始の恒例行事
- 3/19 46号 原 贈る言葉
矢木 1年を振り返って

5. 学年通信と生活指導

筆者自身、中学1年の学年代表であると同時に、校務分掌では指導部長である事から、この学年通信の内容もかなり生活指導的な面が多くなってしまった。

- 4/26 4号 学級保護者会の様子・いじめ問題
- 5/21 8号 生徒の生活実態調査結果
- 5/31 10号 盗難問題（鈴木）
- 7/12 17号 生活指導の在り方（保護者より寄稿）
- 7/19 18号 夏休みの生活心得（対生徒、対保護者）
- 9/ 6 20号 「生活指導」に対するアンケート結果から
- 9/20 22号 盗難問題
- 10/ 4 24号 思春期「心のなやみ」（暮らしの手帖）
- 10/11 25号 ドラッグ
- 10/18 26号 女の子のなやみ
- 10/25 27号 男の子のなやみ
- いじめ問題（文部省：児童生徒の問題行動に関する調査研究協議会資料より）
- 11/ 1 28号 人を傷つける言葉
- 11/16 30号 テレクラ問題
- 11/29 32号 学習に関する悩み（悩み相談室より）
- 12/ 6 33号 学習に関する悩み
- 12/13 34号 思春期の子どもが納得するアドバイザーになるための10の姿勢
- 1/17 37号 「こんな親が問題児をつくる」
子どもをダメにする親-12のタイプ
- 1/31 39号 「こころの電話」の相談内容から
- 2/ 7 40号 周りの友達の良いところを見てみよう
- 3/ 7 44号 図書紹介「生きること・学ぶこと」

以上のように筆者自身の言葉によるアドバイスは、なかなかうまくできなかったけれど、思春期の子どもを持つ保護者の悩みを、何らかの形でサポートできないか、筆者自身が同世代の子どもを持つ親として、親としての生き方について、何らかの指針なるものが得られるのではないかという事で、現代の抱えている社会問題をも含め、参考になる話題を提供してきたつもりである。

6. 終わりに

当初、この学年通信が、教師、生徒、保護者の意見交換の場となるよう予定していたが、思惑通りにはいかなかった。しかし、我々教師集団の個々のつぶやきなど掲載する事によって、かなり学級経営の方向性を理解してもらったのではないかと思う。だから、少なくとも保護者から、何とかして欲しいというような苦情？要求は出でてはこなかった。

中学1年という時期だから、保護者の理解も得ら

れたのかもしれない。というのも高学年になればなるほど、生徒にとって都合の良いものしか家庭に伝わらない事がが多いからである。というわけで学年通信などは高学年の生徒にとって、家庭に見せるべき物と考えなく、自分で処分してしまう事から、学校の願いが家庭に伝わらない事が多い。よって編集者としては、生徒にとっても、また保護者にとっても興味の沸く内容にするよう心掛けなければならない。

結局1年間で46号まで発行する事ができたが、これは予想以上のものであったと自負している。これも保護者の方の、学年通信「Poco a Poco」に寄せていた期待と、実際に投稿していただいた保護者の方、さらに鈴木、中村、原の中1担任団の協力があったからできたものと感謝している。



朝夕かなり涼しくなってきました。今のところ特に体調を悪くした人はいませんが、これから健康面に十分気をつけて生活してほしいと思います。
昨日、11月5日のPTA研修会についてのご案内を致しましたが、研修会後の学年保護者会について、今のところ「1月15日の野外学習について」「最近のクラスの状況」等を予定しています。これをクラス別に行なうか、全体会同で行なうかについては流動的どころがあります。日程では研修会の前に懇親会を図書館で行なう予定です。A組はこの日の内容によって今後クラス懇親会を計画される予定であります。一般論ですが最近の生徒達の生活についていろいろなことが言われています。学校だよりや、このPoco a Pocoの裏面でも「思春期の悩み」などを掲載してきました。そんな事も含めて子ども達の生活の悩みや、また逆に体験から参考になるお話を、気軽に情報交換できたらと思っていますので、ご多忙の中多数の方に参加して頂ければと思っています。学校からの方通行でなく、学校の方針にも理解いただき、さらに私達に積極的にご意見を頂ければと思います。

来週の予定

- | |
|----------------|
| 10/28 (月) |
| 29 (火) |
| 30 (水) |
| 31 (木) 春祭 |
| 11/ 1 (金) |
| 2 (土) 第1回読入会開催 |



文部省の「児童生徒の問題行動等に関する調査研究協力者会議」から「いじめ」に関しての要旨パンフレットが学校宛てにきました。2年前の大河内戸の自殺事件を契機に、いろいろなところで「いじめ」問題が取り上げられるようになりました。もっともそれ以前にも「鹿川君事件」等もありましたが、特に大河内戸事件でアップされたのは大河内君事件だと思います。本校でもその時にアンケートしましたが、深刻な問題は当然表面には出てきませんので、実質はどうかわかりません。無いことを期待していますがどうでしょう。次にその要旨パンフレットをせておきますので、一度ご家庭でこの問題を考えてみて下さい。

文部省 児童生徒の問題行動等に関する調査研究協力者会議

保護者の方へ

家庭が、学校が、
地域社会が、
「いじめの問題」で
問われています！

いじめの問題は家庭、学校、地域社会がそれぞれの教育機能を十分に発揮し、一休どなった取組を行なって必ず改善されるものです。21世紀の日本として世界を用う子どもたちの健やかな成長を社会全体で支援していくために、今こそ私たち一人一人が行動すると。それに、いじめの問題に対する基本的な知識をつかうと、あくことから始めましょう。